

療に煩わされることなく専門分野に特化すべく、地方の公的、準公的病院から整形外科中心の民間病院に移動していることである。忙しくとも自分で仕事をコントロールでき、自身の専門を極めることができる。目的を持った主体的な移動であると考えられる。また若手、中核の医師が急性期病院から、よりリスクの少ない病院へ移動する傾向

もみられる。今回のシンポジウムの勤務医が救急医療を担う勤務医を意味しているのだとすると、このことは勤務医の中でも、救急、一般整形外科診療をせざるを得ない勤務医とそれをしない勤務医に別れてきているといえる。今後この傾向は続くものと考えられる。

7 公的病院の立場から

吉川 明

長岡中央総合病院病院長

What is the Condition That Doctors will Work for a Long-term in Hospital?

Akira YOSHIKAWA

Director of Nagaoka Chuo General Hospital

当院は新潟県厚生連16病院の基幹病院として急性期医療を中心に、健診センター、地域保健福祉センターを付設し、保健、福祉事業にも力を入れている。

平成17年10月に念願であった移転新築を完遂し、これを契機に医療の効率化を図る為、内科、外科系を消化器センター、呼吸器センター、脳血管センターに編成した。また、教育、研修、高度医療の場となることを目指し、新臨床研修病院および地域がん連携拠点病院の指定を受けた。

現在、常勤、非常勤合わせて79名の医師スタッフがおり、充足率は135.1%である。このうち初期研修医が13名いる。病床数は531床、平均在院日数は14日前後、病床稼働率は92~95%である。現在の状態では、常勤医数は不十分である。

勤務医が辞める理由を管理者側から考えてみると直接的な理由としては、連日の超勤、当直明け体がないなど長時間労働を強いられ肉体的疲労が蓄積する。クレームや医療訴訟が増え精神的疲労も多い。同僚や管理者に不満を募らせること、親の跡を継がざるを得なくなったこと、などが推測される。

また、間接的な理由として、開業専門のコンサルタント業者がおり、以前より開業し易い状況にあること、医師不足の為、辞めても引く手あまたであること、同僚が辞めると自分の負担が増えること、新研修医制度が始まり後任がしばらく来ないので将来に対する不安感があるなどが推測される。

現在、病院側として待遇面では本俸の他に、診

Reprint requests to: Akira YOSHIKAWA
Nagaoka Chuo General Hospital
2041 Kawasaki-machi,
Nagaoka 940-8653 Japan

別刷請求先：〒940-8653 長岡市川崎町2041
長岡中央総合病院病院長 吉川 明

療手当, 超勤手当, 研究手当などを付加している。訴訟に対しては医師個人の問題であっても最終的には組織で対応している。当直は原則45才以上は免除としている。

今後取り組むべき事項を列記すると, ①当直翌日の半日もしくは1日休 ②年休の消化 ③開業医並みの収入 ④適切な仕事量, 研究, 学会発表等

が可能な余裕ある診療体制 ⑤女性医師が働き易い条件の整備 ⑥以上を可能にする十分な医師数を確保すること等々をあげたい。いずれも難題であることは間違いないが, 勤務医として定年まで勤めるには苛酷な労働条件の是正, やりがいのある仕事内容, 身の丈にあった収入, 定年後の再就職への道の確保など真剣に取り組むべきであろう。

8 出身大学が混在する僻地病院から

塚田 芳久

新潟県立十日町病院長

The Terms of Employment of the Doctor Who Works at the Rural Hospital

Yoshihisa TSUKADA

Director of Niigata Prefectural Hospital at Tokamachi

Key words: a doctor who works at a hospital, medication in remote rural areas

はじめに

医療費抑制, 医療の安全神話追求など, 環境変化に従って, 医療界における医師の動きは「勤務医から開業医へ」, 「地域から都会へ」, 「リスクの高い医療領域から少ない医療領域へ」と偏在が進んでいます。新潟県は新潟市周辺を除き全県的に医師不足状態にあり, 広い中山間地・離島・過疎地は更に深刻な状況にあります。新潟医学会が「勤務医が勤務医として長く勤務するためには」をテーマとして取り上げたことは, 時代的要請に呼応するだけでなく, 新潟県の医療を考える上で

意義深いものがあると思います。しかし, 医療費抑制や競争原理導入の国策の下では, 過疎・高齢化地域に行政の支援を求めることは容易ではありません。そのような背景を踏まえて, へき地の病院管理者として地域の現状と地域医療を維持する方策を述べたいと思います。

十日町圏域の背景

新潟県立十日町病院は十日町圏域(十日町市, 津南町, 長野県栄村)人口8万弱を対象にする地域中核病院です。十日町圏域は1000m前後の山

Reprint requests to: Yoshihisa TSUKADA
Niigata Prefectural Hospital at Tokamachi
32-9 Takayama,
Tokamachi 948-0055 Japan

別刷請求先: 〒948-0055 十日町市高山32-9
新潟県立十日町病院長 塚田 芳久